

# 家じゅうまるごと、安全地帯。

取材・文／はら みづほ  
写真／藤野 孝行



居間でくつろぐNさんご夫妻。東南に面した大きな窓にかかっている電磁波シールド素材の白いカーテンは、薄手でも効果大だそう。

## 化学物質も電磁波も、さようなら！

「この家にとまったく症状が出なくて、自分が病気だってことを忘れちゃうんです」と朗らかに笑うNさんは、10年以上の間、化学物質や電磁波の“過敏症”に苦しみ続けてきた、4人家族の奥様。年々増えつつあるこれらの病気の要因と言われるのは、石油化学製品を使った建築資材やインテリアから揮発する様々な化学物質と、家電・電線・通信機器の基地局やアンテナなどから発せられる電磁波。症状を発症したNさんのような方々は、私たちが現代生活で多用している製品の多くが、自然物である人体と相容れない素材やしくみ

に由来していることに身を持って警鐘を鳴らしてくれている、正常な感度の持ち主たち、という気がします。

## 「健康住宅」のヒミツ。

友達からの情報で西條さんを知り、話を聴きに行き、建てられた家を見て「ここでしか建てられない！」と決めたNさん。壁、床、天井、断熱材…と隅々まで自然素材にこだわった家づくりがスタンダードの西條デザインですが、「この家には道産天然木材の使用量が通常と同じ広さの家の2倍以上使われていて、分厚い木の壁で外界から守られているような安心感なんです」とのこと。自然な換気

で室内の空気がよどみなく循環しているのも感じるそうです。「暖房のスペシャリストの方に『ここに住んだら健康になるよ〜』と言われたのですが、本当でしたね。壁の中の配線、コンセントや窓の位置など、あらゆる部分に気を配ってくださったので、毎晩ぐっすり眠れます。家電もふつうに使っていますが、屋内の電磁波を家の隅に集めて地中に逃がす“オールアース住宅”なので、頭痛もなくなりました。この家で暮らして3年。家にいると完治したような気分ですが、街に行くとダメでがっかり(笑)。でもここで暮らし続けたら少しずつ抵抗力を取り戻し、いつか病気自体も治るかもしれない。そうなったらいいな、と思っています」。



ヨーロッパ風のステキなキッチンの素材やインテリアも、すべて“過敏症”対応の自然素材。



居間からキッチンをひとつの印象でつなく無垢のフローリング材は、クセのある匂いにも安心な、丈夫で芳香性のないタモ材。



玄関脇のアーチ戸の向こうは、玄関から靴を履いたままでも、室内からでも入れられる土間クローゼット納屋。

## Vol.18 ECOさんが 帰る場所

HOME GROUND of  
ECO-LIFE



有機珪酸イグサ畳とふすまの和紙使いが個性的な和室。



1階と2階の各スペースをつなぎ換気口の役目も果たす、小窓の小屋。



1階と2階の各スペースをつなぎ換気口の役目も果たす、小窓の小屋。

## 環境病は、予防が大切。

電磁波や化学物質に過敏に反応する環境病の許容量や治癒力は人によって個人差がまちまち。様々な症状が現れ、多くの場合、原因がはっきり解らないのも悩ましいところです。いつ自分の身にも現れるかわからないこのような病気に対しては、ならないようにリスクを減らした住いの環境づくりが大切ですね。

エコデザイナー 西條正幸



この記事の続きは、HPでお楽しみください。  
<http://www.saijo-d.com>

00 資料請求  
**BiO+**  
Bioプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 Bioプラス西條デザイン  
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581